キングコング対ゴジラ（1962）

KING KONG VS GODZILLA

メディア 映画
ジャンル 特撮
製作国 日本
時間 98分
初公開日 1962/08/11
公開情報 東宝

【解説】

ＴＴＶの桜井と藤田は、ＴＶ番組の視聴率アップのため、スポンサー・パシフィック製薬の多湖部長の依頼で、“巨大なる魔神”を追って南海のファロ島を訪れた。その頃、北極海調査を行なっていた原潜シーホークは発光する奇怪な氷山と遭遇、その中からは休眠していたと思われるゴジラが現れた。桜井たちは強力な麻酔作用のある木の実と原住民の協力を得て、“魔神”ことキングコングの捕獲に成功する。しかし海上輸送の途中で目覚めたコングは単身で日本に上陸すると、同じく上陸していたゴジラに立ち向かっていった。那須高原を舞台に始まるキングコング対ゴジラの対決！！　初戦は敗退したものの、キングコングは国会議事堂に出現。女性をさらい雄たけびをあげるコングは、再び眠らされてゴジラの待つ富士山の裾野へと空輸される。かくして始まった第２ラウンド！！　激しい戦いはやがて熱海城へまで移動して繰り広げられる！　コング勝つか？　ゴジラ勝つか……。

東宝創立３０周年記念作品として、なんと対戦相手に世界のキングコングを迎えた超娯楽作だが、ゴジラがカラー（しかもシネスコ）作品に登場したのも初めてなら、シリーズとしてタイトルに“対”をつけたのも初めてという、それだけでも記念碑的な作品。しかし本作はそういった冠を付けずとも、伏線と登場人物のキャラクター（有島一郎が軽快に演じた多湖部長は特撮ファンの胸に強く刻まれているキャラクターの一人！）が充分に活かされた脚本と、コミカルかつダイナミックな演出で心底面白いと言える作品になっている。“怪獣映画”である前に“映画”としてきちんと成立しているのだ。国会議事堂、熱海城のミニチュア・ワーク、本物のタコを使って撮影されているファロ島の大ダコなどが特撮的な見所。１９７０年３月２１日に「東宝チャンピオンまつり」としてリバイバルされた際、ネガフィルムにカットが施され長らく全長版は幻とされていたが、海外に残されていたプリントなどから復元作業が行われ、現在ではビデオやＬＤで初公開時と同じ完全な状態の作品が鑑賞できる。

【登場怪獣】ゴジラ／キングコング

【クレジット】

監督	本多猪四郎	
製作	田中友幸	
脚本	関沢新一	
撮影	小泉一	
美術	北猛夫	
	阿部輝明	
編集	兼子玲子	
音響効果	西本定正	
音楽	伊福部昭	
特技監督	円谷英二	Eiji Tsuburaya
特技・撮影	有川貞昌	Sadamasa Arikawaw
	富岡素敬	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

特技・美術	渡辺明	
特技・合成	向山宏	
アクション	中島春雄	
	手塚勝己	
出演	高島忠夫	桜井修（ＴＴＶテレビカメラマン）
	浜美枝	桜井ふみ子
	佐原健二	藤田一雄
	藤木悠	古江金三郎
	有島一郎	多胡（パシフィック製薬宣伝部長）
	若林映子	たみ江
	平田昭彦	重沢正介（京南大学生物学博士）
	田崎潤	東部方面隊総監
	大村千吉	コンノ（ファロ島通訳）
	小杉義男	ファロ島村長
	沢村いき雄	ファロ島祈祷師
	根岸明美	チキロの母
	松村達男	牧岡（薬学博士）
	松本染升	大貫（原子科学博士）
	堺左千夫	大林（パシフィック製薬宣伝部員）
	千葉一郎	宣伝部員
	加藤春哉	宣伝部員
	ダグラス・フェーン	シーホーク号船長
	金子吉延	アパートの子供
	田島義文	
	三島耕	
	山本廉	
	大友伸	
	ハロルド・コンウェイ　Harrold S. Conway	
	オスマン・ユセフ	
	広瀬正一	
	桐野洋雄	東部軍陸上二部長
	中山豊	第二新盛丸通信係
	田武謙三	ＴＶ解説者

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.